

## 静岡県漁業協同組合連合会

1144 静岡市葵区追手町 9-18  
17. 5. 27 ☎054-254-6011  
編集・発行 = 指導部漁政課

### 1. 日韓水産資源協議が焼津で開催される

日本と韓国の政府間による第1回水産資源協議が、去る5月18日～20日焼津市で開催され、水産庁からは竹谷廣之資源管理部長ら、韓国海洋水産部からは沈好鎮漁業資源局長ら両国の関係者が出席して開催されました。

協議は、日韓の水域での資源管理のあり方を確認するとともに、両国が抱える水産現場の問題解決について話し合いが行われたほか、漁業資源の持続可能な利用及び保存協力についても意見交換が行われました。

具体的な実施方策については、今後も協議を継続することとし、次回の具体的な日程と場所は外交ルートで調整した上で、韓国で開催することを決定しました。

このほか、焼津漁港周辺の県水産関係施設などの現地視察も行われ、駿河湾海洋深層水の利用状況などや、20日には由比町を訪れサクラエビのプール制について宮原由比港漁協長より説明が行われました。

この協議は、2003年の日中韓3国首脳による漁業資源に関する協力などを盛り込んだ共同宣言や、昨年10月に開かれた3国間水産ハイレベル協議の流れを踏まえ、日本側が昨年末から韓国側に2国間での水産資源協議開催を働きかけ実現したものです。

### 2. 平成17年度天草共販協議会を開催 第1回入札会を6月22日に決定

去る5月16日日本会賀茂出張所において、平成17年度天草共販協議会を開催し、本年度の共販実施計画などについて協議しました。

また、県水試伊豆分場より本年3月下旬から4月下旬にかけて主生産地の伊豆半島沿岸8地区18箇所、潜水調査を実施した生育状況調査(各漁場内のほぼ平均的と思われる所1㎡の枠取りを行い、重量及び藻長を測定)の結果が報告されました。

それによると、東伊豆から南伊豆地区にかけては、昨年より増産または昨年並み、西伊豆地区では昨年より減産、土肥地区では増産が予想されます。県全体としては昨年並みか、若干の減産が予測されます。

なお、本会の平成17年度天草共販事業入札会は6月22日(水)をかわきりに10月5日(水)まで6回の入札会を予定しました。

### 3. 平成16年漁業・養殖業総生産量573万3千トン

農林水産省統計情報部ではこのほど、平成16年の漁業・養殖生産統計(概数)を発表しました。それによると16年の漁業・養殖業の総生産量は573万3千トンの減少でしたが、昨年は一部魚種の記録的豊漁により63年以來の増加を示しましたが、今回は台風や低気圧などの原因により再び減少し、昭和30年代レベルの水準となりました。

部門別の生産量は、海面漁業が441万1千トンで31万1千トン(6.6%)の減でした。そのうち遠洋漁業は52万8千トンで7万4千トン(12.3%)の減、沖合漁業236万9千トンで17万4千トン(6.8%)

減、沿岸漁業151万3千トンで6万4千トン(4.1%)減と軒並み減少しました。また、海面養殖業も121万6千トンで3万5千トン(2.8%)減少しました。内水面漁業・養殖業では、内水面漁業がサケ・マス類の遡上量増加などにより増加したものの、KHVコイペルペスウイルス病の発生によるコイ養殖生産の減少が大きく、10万6千トン(3%減)となりました。

### 4. 平成16年県内水産加工品総生産量13万9600トン しらす干し大幅減少

関東農政局静岡統計・情報センターでは、平成16年県内の水産加工品生産量(概数)をまとめました。それによると、平成16年の静岡県における食用加工品生産量(海藻製品、缶詰、びん詰などを除く)は139,613トン(前年比7,132トン、5%減)、全国4位の生産量で、生鮮冷凍水産物生産量は4,685トン(同514トン、10%減)、全国23位の生産量でした。

このうち、ねり製品の生産量は35,986トンの前年並で、ゆでかまぼこが減少したものの、その他の品目で生産量が増加しました。煮干し品は2,549トンで、前年に比べシラスの漁獲量が減少したことから主要品目のしらす干しが減少したため、2,181トン(54%)大幅に減少しました。冷凍食品の生産量は28,948トンで、3年連続の増加傾向から一転して、前年に比べ1,977トン(6%)減少しました。

このほか、塩干品の生産量は27,561トンで前年並み、節製品は26,511トンで、前年に比べ8%減少、生鮮冷凍水産物の生産量は4,685トンで、前年に比べ10%減少しました。

静岡県が全国1位のシェアを占める食品加工品 = ねり製品のうちゆでかまぼこの生産量 冷凍食品のうち魚介類の生産量 塩干品のうち干しあじの生産量 節製品のうちかつおなまり節とさば節の生産量

### 5. 第39回水産加工技術セミナー開催のお知らせ

県水産試験場では、新技術の開発・導入による新製品の開発、消費者志向に基づく品質の高度化・安全性の確保あるいは廃棄物の有効利用などを推進するため、次のとおり第39回水産加工技術セミナー(参加費無料)を開催します。

開催日時：平成17年6月17日(金)13時30分 開催場所：県水産試験場 3F大会議室  
講演1：「水産物の原産地判別技術の開発について」= (独)水産総合研究センター中央水産研究所利用加工部食品バイオテクノロジー研究室 山下倫明室長

講演2：「水産物を含む食品流通戦略の動向」= 大日本水産会おさかな普及協議会 松沢正明事務局長

申込方法：6月15日までにFAXまたは郵送で、県水産試験場加工水質研究室宛  
〒425-0033 焼津市小川汐入3690 TEL:054-627-1815、1818 FAX:054-629-7350、3084

### 6. 諸会議日程(5月31日(火)～6月13日(月))

- 既報分省略 -

6月 3日(金) 県漁連 = 監事会・理事会 (県水産会館)

6月3(金)～5日(日) " = 2005パールフェスタ ( " )

6月 7日(火) 県養鰻協会 = 通常総会 (ブケ東海)

6月 8日(水) 県漁船保険組合 = 通常総代会 (県水産会館)

" 県漁業共済組合 = 通常総会 ( " )

" 県ふぐ漁組合連合会 = 通常総会 ( " )

6月 9日(木) 県漁業共済組合 = 県漁業共済事業推進協議会幹事会 ( " )